

校長の自己紹介

平成22年度の人事異動で本校に赴任致しました。藤崎嘉丈（ふじさきよしただけ）と言います。昭和26年5月16日生まれで58歳です。出身地は、鹿児島県大島郡喜界町です。人口が8500人、島の周囲は40kmという太平洋に囲まれた小さな島で生まれました。位置的には、鹿児島市と沖縄市との中間地点にあります。行政的には、鹿児島県ですが文化圏は沖縄県の文化を引き継いでいます。ですから、言葉も風習も沖縄に似ています。テレビも、私が中学校2年生の時に、初めてNHKテレビ放送局が開通しました。それまでは、テレビもなくラジオ中心の情報しかありませんでした。今の、情報化社会とは全くかけ離れた世界でした。今考えると、古き良き時代だったと思います。そういう文化に対して、私のアイデンティティとして誇りに思っています。そういう意味で、生徒達が、自分の故郷を誇りに思える生き方をして欲しいと考えています。昭和51年に大学を卒業して、鹿児島県の教員採用試験を3回受けましたが、不採用で3年間地元で講師をしていました。しかし、4年目になって、福岡県の教員採用試験に合格して、右も左も分からない中で、田川市の弓削田中学校に昭和55年4月に新規採用されて、30年になります。その間田川の女性と結婚し、3人の子どもに恵まれました。後2年で退職しますが、田川の地に墓を建てて一生を暮らしたいと思っています。田川の良さは、旧産炭地として全国の人たちを受け入れてきたところです。私もその一人になります。私の教職生活の最後の学校として、私なりに、地域に信頼される学校づくりをしていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

始業式でこんな話をしました。

- 1、最初隣同士でじゃんけんをして、負けた生徒は、勝った生徒の後ろに回り、肩をつかみます。さらに、前の生徒は、じゃんけんをして行きます。最後には、先頭から最後尾まで、一つのつながりが出来ます。その中には、勝ち続けた生徒が先頭になり、負け続けた生徒が最後尾になります。先頭の生徒と最後尾の生徒に今の気持ちを聞きました。先頭の生徒は恥ずかしかったと言ひ、最後尾の生徒は悔しかったと言ひました。そのように、一つの簡単なゲームではありましたが、全員一人ひとりがいろんな思いを持ってこのゲームに参加することが出来ました。いろんな思いがある中で、猪位金中学校という、一人ひとりのつながりが出来ました。その、つながりを大切に出来る猪位金中学校をみんなでつくっていきましょう。
- 2、目標をそれぞれがきちんと持って下さい。短期目標、長期目標を持てる生徒になって下さい。それをしっかり持っている生徒とそうでない生徒では、困難にぶつかったときに踏ん張ることが出来るか出来ないにかかって来ます。
- 3、違いこそ宝です。全校生徒一人ひとり顔つきも違えば体つきも違います。考え方も違います。また、身体に障害のある生徒もいます。しかし、その違いこそが、それぞれの自分らしさ（個性）です。自分を大切に、他人も大切に出来る生徒になって下さい。
- 4、人の話を耳と目と心で聴ける生徒になって下さい。相手の人を大切にする、人権が大切にされていく学校の第一条件だと思います。